

## 学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成21年3月3日（火） 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室（小白川キャンパス、事務局4階）

### 学 長 挨 拶

### 発 表 事 項

1. 山形県議会との相互協力に関する協定の締結について
2. 初めての卒業設計展の開催について
3. 「とうほく MITRAI（みらい）」コースのコンソーシアム設立について
4. 純米大吟醸「山形大学2009 燦樹（きらめき）」の発売について

### お 知 ら せ

1. 山形大学学位記授与式、附属学校卒業式について
2. 食農の匠シンポジウムの開催について
3. 産学連携による研究開発人材育成プログラム成果報告会の開催について
4. 有機EL研究会第6回異業種交流会の開催について
5. 小さな科学者・体験学習会「マイナス200度の世界」の開催について

（参 考）

○ 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：3月18日（水） 11:30～12:00

場 所：事務局第二会議室（小白川キャンパス、事務局4階）

平成21年3月3日  
山形大学

## 山形県議会と相互協力協定を締結

山形県議会と山形大学は、相互に協力することにより、地域の抱えるさまざまな課題に適切に対応するとともに、魅力ある地域づくりの推進を目指して相互協力に関する協定を締結いたします。

県議会と国立大学の間で、このような協定が締結されるのは全国でも初めてのケースとなります。

### 1. 相互協力協定の経緯と目的について

山形県議会から、議会の活性化を図るために「新・山形県議会活性化検討委員会検討結果報告書」（平成21年3月2日）に明示された「大学との協力関係」を推進するため、県内唯一の総合大学である山形大学と協定を締結したい旨の要望が寄せられました。山形大学としても、県議会における政策提言形成過程に協力することを通じて、間接的に地域づくりや産業振興に貢献することが可能となるとともに、大学の諸環境の整備につながる効果が期待できるものとなります。

以上の経緯により、県民を代表し県政の意思決定を行う山形県議会と、学術の中心として知的資源が集積する山形大学が相互に協力することにより、地域社会が抱えるさまざまな課題に適切に対応するとともに、県内外の方にとって魅力ある地域づくりを進めていくことを目的として、相互協力協定を締結することにいたしました。

### 2. 相互協力事項の主な内容について

- (1) 山形県議会の政策形成及び調査に関すること。
- (2) 山形大学の教育・研究環境の充実に関すること。
- (3) その他相互協力の目的を達成するために必要な事項に関すること。

### 3. 平成21年度実施予定事項について

議会の政策形成における山形大学からの専門分野に係る助言 など

### 4. 相互協力協定締結式等の日程について

日時：平成21年3月6日（金） 14：00～

場所：山形県議会 議長応接室（山形市松波2-8-1）

\* 協定締結式終了後、意見交換会の開催を予定しております。

（お問い合わせ）

企画部社会連携ユニット 菊地  
電話：023-628-4840

平成21年3月3日  
山形大学

山形大学地域教育文化学部生活環境科学コース  
初めての卒業設計展の開催について

地域教育文化学部生活総合学科生活環境科学コースでは、新たに改組した学部の完成年度になり、初めての卒業生を世に送り出します。

「住まいと自然科学の融合」を基に、将来、建築士を目指す学生3名が、地域に根ざした建築卒業設計に取り組みました。

今回はインフォメーションセンターで学生たちの建築模型ならびに図面の展示を行います。

## 1. 卒業設計展の日程等について

日時：3月9日（月）～3月27日（金）10：00～16：30

場所：山形大学インフォメーションセンター（山形市小白川キャンパス）

## 2. 卒業設計展の概要について

学生たちが作製した、建築模型ならびに図面の展示を行います。

・加藤裕子

「伝統的建築意匠ならびに構法の現代建築への応用」

・宍戸 学

「子ども環境としての遊び場デザイン」

・藤原暁子

「エコロジカルな地域再生デザイン」

（お問い合わせ）

地域教育文化学部 佐藤慎也

電話：023-228-4377

平成21年3月3日  
山形大学

山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学（MOT）専攻  
「とうほくMITRAI」コースのコンソーシアムを設立します。

山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学（MOT）専攻では、平成20年10月に「とうほく MITRAI（みらい）」コースを開設しました。この度、その活動を進めるためにコンソーシアムを設立し、設立総会及び記念講演会を3月12日（木）に開催いたします。

## 1. 設立総会及び記念講演会の日程について

日時：平成21年3月12日（木） 13：00～

場所：山形国際ホテル（山形市香澄町3-4-5 TEL 023-633-1313）

内容：記念講演会には、東京大学21世紀COEものづくり経営研究センターの藤本センター長をはじめ、著名な産官学からの来賓を予定しています。

## 2. 「とうほく MITRAI（みらい）」コースとは

アジアの優秀な学卒国費留学生を受け入れ、山形大学MOTで専門教育・日本語・日本の企業文化等の教育を実施するとともに就職支援までを一貫してサポートし、グローバル展開を目指す日本国内企業（できれば山形）に就職させ国際競争力を強化するコースです。

## 3. 「とうほく MITRAI（みらい）」コースのコンソーシアム設立について （仮称：“もっとみらい”コンソーシアム）

下記の目的に沿った活動を進めるために、山形県内企業・行政・大学からなる団体を設立します。

- ・コンソーシアム委員会を設け、山形地域のものづくりの国際競争力強化に向けた課題と人財像に対する共通認識の形成、人財選抜での連携強化
- ・人財育成のカリキュラムの内容や、インターンシップを中心とした現場教育での協力体制の構築
- ・留学生の就職並びに就職後の活躍を支援し、3年後の「アジア人財資金構想」事業終了後に自活した展開ができる体制づくり
- ・専用サーバーからの相互発信情報共有による会員拡大

（お問い合わせ）

大学院理工学研究科

MOT/VBL/産学連携担当教授 松田 修

電話：0238-26-3632

# “もっとみらい” コンソーシアム

## 山形産学官コンソーシアム設立とグローバルものづくり人財シンポジウム

経済産業省・文部科学省共同「アジア人財資金構想」高度専門留学生育成事業(3ヵ年)を活用してアジアから優秀な留学生を受け入れる「とうほくみらいコース」が山形大学で昨年よりスタートしました。これにともない山形の国際競争力強化に貢献するための課題と人財像に対する共通認識の形成、人財育成プログラムにおける産学官の連携強化、3年後の「アジア人財資金構想」の事業終了後の自活、拠点となる海外協力支援センター設立の検討等を目的として産学官共同の“もっとみらい”(Management of Technology, と Monozukuri Industry Talents Relating to Asian Innovationの頭文字) コンソーシアム(共同目的に沿った活動を進めるための団体)を結成します。多くの企業、団体、行政、個人の参加をお待ちいたします。

平成21年 **3月12日(木)**

第一部:13:00~13:45 (設立総会)  
第二部:14:00~17:00 (シンポジウム)

会場 **山形国際ホテル 2F 「平成」**  
山形市香澄町3-4-5

### 内容

#### 第一部

・コンソーシアム設立総会 会長・副会長・幹事・会則の承認

#### 第二部

・記念講演 「ものづくりと人財育成」

東京大学21世紀COEものづくり経営研究センターセンター長  
教授 藤本 隆宏 氏

・パネルディスカッション 「グローバル化と人財育成」

#### パネリスト

東京大学大学院経済学研究科 准教授 新宅純二郎 氏  
株式会社YCC 代表取締役社長 津志田光弘 氏  
エムテックススマツラ株式会社 代表取締役副社長 長谷川征男 氏  
NECパーソナルプロダクツ株式会社 (未定) 氏

#### パーソナリティ

山形大学 副学長 小山 清人



### お申し込み

第一部に参加申し込みの方は「もっとみらいコンソーシアム」会則で定められた会員としてコンソーシアム諸活動をさせていただきます。(事業所名とご氏名をご記入のうえお申し込みください。)

第二部のシンポジウムのみ参加も OK です。特に、グローバル化が進む現代の産業界において「ものづくり力」で未来を拓こうとする企業にとって、今回の記念講演はまたとない機会です。多数のご参加をお待ちします

## 申 込 書

参加者名		参加者名	
住 所		住 所	
連 絡 先		連 絡 先	

主催 山形大学とうほくみらいMOTコース事務局

お申し込み先 (担当教授:松田/窓口:山本 0238-26-3622) Fax:0238-26-3772

# とうほくものづくり国際人財育成プログラム【とうほく<sup>みらい</sup>MITRAI】

TOHOKU Monozukuri Industry Talents Relating to All-Asian Innovation

## What's コンソーシアム?

### 人財を地域に残す仕組みづくり

「とうほくものづくり国際人財育成プログラム（略称：とうほくMITRAI）」においてコンソーシアムは地元企業・地方自治体・大学が連携して推進するもので、日本の企業で働くために必要な技術、知識を学ぶ留学生をサポートし、人と人、人と仕事、人と地域、人と世界を有機的につなげ地域に人財を残す仕組みです。

コンソーシアムの具体的な役割として本プログラムでは、①山形地域のものづくりの国際競争力に向けた課題と人財像

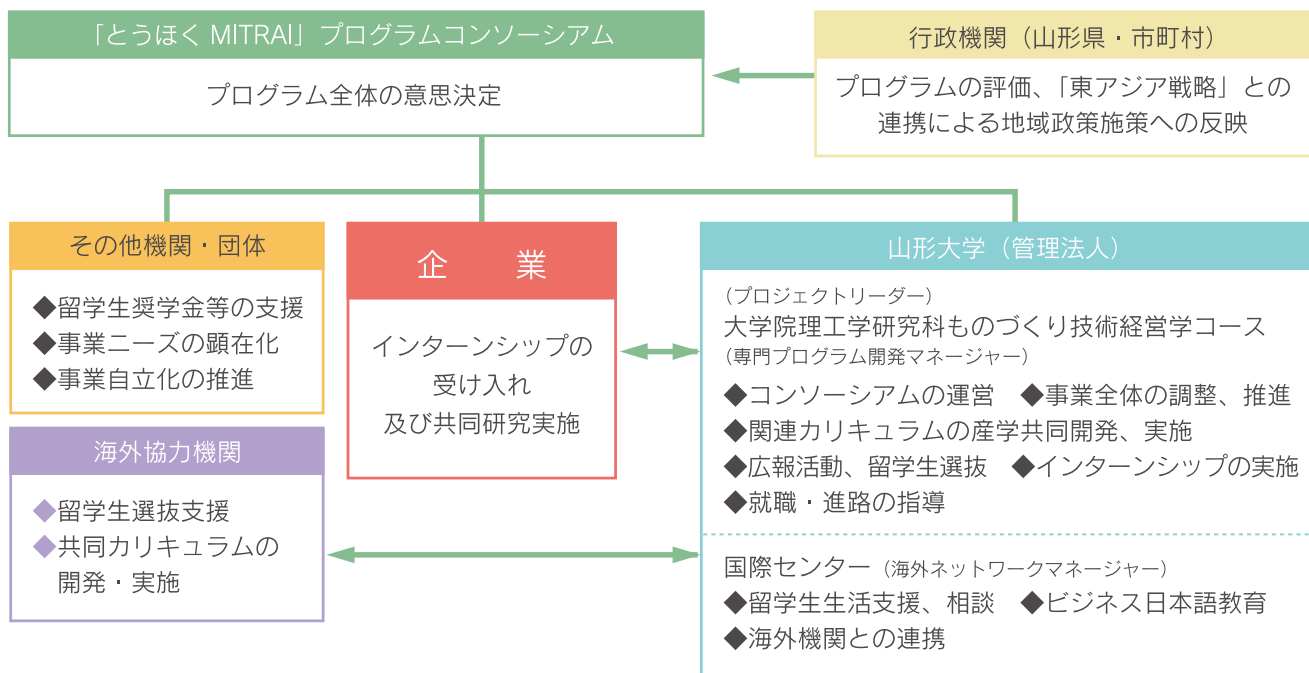
に対する共通認識の形成、人財選抜での連携強化、②人財育成プログラムにおける連携強化、③3年後の「アジア人財資金構想」事業終了以降、自活した展開ができる体制づくり、④拠点となる「海外協力交流センター（仮称）」設置に向けた検討、以上の4点を掲げています。

### 平成21年度は留学生のインターンシップ、就職活動などが予定されています

本プログラムは、平成21年3月にコンソーシアムを設立します。その前段階として、海外に拠点がある企業、外国人雇用

の実績がある企業の皆さまの協力を得て、3回にわたる「コンソーシアム設立準備委員会」を開催。企業のグローバル化、魅力ある企業づくりの即戦力となる人材育成のために求めることなどをヒアリングし、本プログラムに反映させてきました。平成21年度は、2年目に入る留学生のインターンシップ、就職活動や企業の第一線で活躍なさっている実務者を講師としてお招きしての授業なども予定しておりますのでぜひ、皆さまの温かいご支援、ご協力をお願いします。

## コンソーシアムの役割 プログラムの実施体制図





## プレス発表資料

平成21年3月3日  
山形大学

「純米大吟醸酒 山形大学2009燦樹(きらめき)」が  
発売されることになりました。

山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センターエコ農業部門(高坂農場)で栽培された酒造好適米「出羽燦々」を100%使用した山形大学オリジナル『純米大吟醸酒 山形大学2009燦樹(きらめき)』が、山形大学生協同組合により3月9日(月)に販売開始されます。

### 1. 「純米大吟醸酒 山形大学2009燦樹(きらめき)」を発売

山形大学オリジナル「純米大吟醸酒 山形大学2009燦樹(きらめき)」が3月9日(月)に販売開始されます。

販売本数は、720ml瓶で生酒800本、熱処理した火入酒1,200本の合計2,000本程度となる見通しです。

昨年発売した「山形大学2008燦樹」の生酒600本は、1箇月程で完売いたしましたので、本年は生酒の醸造を200本増やしました。

### 2. 原料米は附属農場産出羽燦々100%使用の純米のお酒

原料米は、山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センターエコ農業部門(高坂農場)で栽培された酒造好適米「出羽燦々」を100%使用し、鶴岡市大山の蔵元・渡會本店に醸造を依頼した純米大吟醸酒です。

高坂農場では、2005年に「出羽燦々」の実験栽培を始め、2006年から60アールで本格栽培をしてきました。

昨年及び一昨年は、鶴岡市羽黒の蔵元・竹の露に醸造を依頼いたしました。

農学部のある庄内地方はもとより、山形県内には多くの蔵元があることから、蔵元による違いも楽しんでいただきたいとの思いもあり、今回醸造依頼先を変更いたしました。

来年以降も、地域の蔵元にご協力をいただきながら醸造していきたいと考えております。

### 3．山形大学の広告塔のひとつとして

「地域にしっかりと根ざし、世界に燦然と輝く山形大学であり続けてほしい」との願いが込められた「燦樹（きらめき）」を、本学教職員及び学生の出張や帰省の際のお土産品としてはもとより、地域の方々にもご利用していただき、キラリと光り発展する山形大学の好感度アップにつなげたいと考えております。

### 4．売上の一部は、「山形大学未来基金」及び「山形大学学生支援基金」に寄付され、奨学金として活用されます

今回は、供給高にして約340万円分が販売されますが、完売した場合で約24万円が「山形大学未来基金」及び「山形大学学生支援基金」に寄付されます。  
この基金は、学生の奨学金として活用されています。

### 5．発売前の3月5日に鶴岡キャンパスにて「新酒発表会」を開催します

3月5日（木）の18時00分から、山形大学農学部の農学部会館において、「新酒発表会」を開催いたします。

### 6．販売価格等について

価格は、720ml瓶入り生酒が1,700円/本、熱処理した火入酒も1,700円/本です。熱処理した火入酒は4月の販売開始予定です。

商品は、山形大学の4キャンパス（小白川地区、飯田地区、米沢地区、鶴岡地区）内にある山形大学生生活協同組合で購入することができます。

また、山形大学生生活協同組合のホームページからも購入することができます。

### 7．本日お集まり頂いた報道機関各社様には、1社につき1本、見本を進呈いたします

（お問い合わせ）

山形大学生生活協同組合 理事会室

電話：023（641）4380

山形大学農学部企画広報室

電話：0235（28）2803



# プレス通知資料（概要）

平成21年3月3日  
山形大学

## 1. 山形大学学位記授与式等について

（概要）平成20年度山形大学学位記授与式を下記のとおり挙行いたします。

式当日の取材に際しては、壇上での撮影は差し支えありませんが、式進行の妨げとなるような行為は慎んでいただき、円滑な進行にご協力をお願いいたします。

また、学長告辞については、当日に配布いたしますが、式終了後に公表願います。

なお、各附属学校（幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校）の卒業（園）式につきましても、併せてお知らせいたします。

### 【山形地区】

#### ●人文学部・地域教育文化学部・理学部・医学部

社会文化システム研究科・教育学研究科・理工学研究科・医学系研究科

日 時：平成21年3月25日（水）10：00開式

会 場：山形県体育館

- 式次第：1 開式のことば  
2 学士学位記授与・修了証書授与  
3 修士学位記授与  
4 博士学位記授与  
5 学長告辞  
6 ほたるの光 斉唱  
7 閉式のことば

問い合わせ：総務部総務ユニット

（TEL）023-628-4006

### 【米沢地区】

#### ●工学部・理工学研究科

日 時：平成21年3月22日（日）10：00開式

会 場：米沢市営体育館

- 式次第：1 開式のことば  
2 学位記（学士）授与  
3 学位記（修士）授与  
4 学位記（博士）授与  
5 学長告辞  
6 卒業生代表答辞  
7 優秀学生表彰  
8 米沢工業会賞表彰  
9 ベスト・ティーチャー賞表彰  
10 閉式のことば

問い合わせ：工学部事務ユニット企画総務チーム  
(TEL) 0238-26-3005

#### 【鶴岡地区】

##### ●農学部・農学研究科

日時：平成21年3月17日（火）11：00開式  
会場：東京第一ホテル鶴岡

- 式次第：1 開式のことば  
2 学位記（修士）授与  
3 学位記（学士）授与  
4 学長告辞  
5 卒業生代表答辞  
6 閉式のことば

問い合わせ：農学部事務ユニット（総務担当）  
(TEL) 0235-28-2805

#### 【附属学校】

##### ●附属幼稚園

日時：平成21年3月15日（日）10：00開式  
会場：附属幼稚園遊戯室

問い合わせ：附属幼稚園  
(TEL) 023-641-4446

●附属小学校

日 時：平成21年3月19日（木）9：00開式

会 場：附属小学校体育館

問い合わせ：附属小学校

（TEL）023-641-4443

●附属中学校

日 時：平成21年3月16日（月）9：10開式

会 場：附属中学校体育館

問い合わせ：附属中学校

（TEL）023-641-4440

●附属特別支援学校

日 時：平成21年3月18日（水）10：00開式

会 場：附属特別支援学校体育館

問い合わせ：附属特別支援学校

（TEL）023-631-0918

## 2. 食農の匠シンポジウムの開催についての開催について

（概要）研究開発から消費にいたる価値創造プロセスを理解し、実践できる食農分野の新しい商品づくりのエキスパートを養成する「食農の匠育成プログラム」では、首都圏流通関係者等への「山形大学食品MOT」のPRと最上地域の食農産業振興の取り組みを紹介するためにシンポジウムを開催いたします。

日 時：平成21年3月17日（火）14：30～19：00

会 場：キャンパス・イノベーションセンター（東京都港区芝浦3-3-6）

内 容：

- ・講演；「食農の匠」について  
地域再生計画と「食農の匠」について  
山形県の「食産業」の東京進出
- ・「食農」関係を活性化するための意見交換会
- ・最上地域の「食材」の紹介等

問い合わせ：山形大学東京サテライト

（TEL）03-5440-9071

### 3. 産学連携による研究開発人材育成プログラム成果報告会の開催について

(概要)企業の研究開発現場に学生が参加し課題の解決に取り組むのが産学連携による研究開発人材育成プログラムです。この新たな取り組みを、学生と一緒に報告させていただきます。

日 時：平成21年3月16日(月) 14:15～17:45

会 場：キャンパス・イノベーションセンター5階(東京都港区芝浦3-3-6)

問い合わせ：山形大学大学院理工学研究科 高度人材育成プログラム事務局  
(TEL) 0238-26-3022

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

### 4. 有機EL研究会第6回異業種交流会の開催について

(概要)有機ELには、パネルメーカーをはじめ、発光材料、周辺材料、製造装置、検査装置メーカーなど、多くの業種の企業が関わっています。これらの企業はこれまでなかなか一堂に会する機会がなく、情報発信も一方通行になったり、情報に偏りが生じたりと、異業種企業間での情報交換の場がありませんでした。そこで、本研究会では企業間の交流を深めるため、異業種交流会を開催しております。

日 時：3月13日(金) 13:00～19:00

場 所：伝国の杜、上杉城史苑(米沢市丸の内1-2-1 Tel:0238-26-8000)

内 容：関連企業30社及び有機EL研究所に5分程度のショートプレゼンテーションを、その後、パネル展示していただき、その場で名刺交換会を兼ねた交流会を行います。

参加企業：ソニー、NECライティング、パナソニック電工、コニカミノルタテクノロジーセンター、東北デバイス、ルミオテック、住友化学、神戸天然物化学(株)、和光純薬、日本フッソ工業(株)、上海ケムパートナー、日本ゼオン(株)、ウィックス、トッキ(株)、日立造船(株)、エフ・ティ・エス コーポレーション、日立ハイテクトレーディング、アクセル、フジキン、アテネ、岡崎製作所、雄山(株)、ヴァイサラ、住化分析センター、アルバックファイ、コニカミノルタセンシング、三ツワフロンテック、テクノス、アイサプライジャパン(株)、ライト・ブリッジ・アソシエーション、有機エレ研

問い合わせ：(社)高分子学会 有機EL研究会係

〒104-0042 東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル6F

TEL 03-5540-3771 FAX 03-5540-3737

## 5. 小さな科学者・体験学習会「マイナス200度の世界」の開催について

(概要) 理学部では、親子で参加できる実験イベントを企画しています。

超低温の不思議な世界を体験してみませんか。

日 時 : 3月14日(土) 13:30~15:30

場 所 : 山形大学SCITA(サイタ)センター(山形市小白川キャンパス)

問い合わせ : SCITA(サイタ)センター

(TEL) 023-628-4506

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]



文部科学省 産学連携による実践型人材育成事業 採択

# 産学連携による研究開発人材育成プログラム 平成20年度 成果報告会

入場無料

私たち山形大学では、一人ひとりの学生を丁寧に教育することを信条にして参りましたが、近年の社会からの要請の応えるべく、社会や組織に強く貢献できる人材の育成をめざして教育改革を推進しています。

学生の主体性と自立心を喚起するとともに、“考える力の醸成”を重視した、実践的な教育により「卒業生を日本一輝かせる大学」をめざしております。

その中でも、企業の研究開発現場に学生が参加し、課題の解決に取り組むのが高度人材育成プログラムです。  
このわたしたちの新たな取り組みを、学生と一緒に報告させていただきます。  
ぜひ、ご来場ください！

日時：平成21年3月16日（月）14：15～17：45  
場所：キャンパスイノベーションセンター東京 5F  
東京都港区芝浦3-3-6



お問い合わせは・・・

山形大学大学院 理工学研究科  
高度人材育成プログラム事務局  
TEL:0238-26-3022



# 小さな科学者・体験学習会 マイナス200度の世界

## 体験しよう。超低温の不思議な世界！

マイナス200度は超低温の世界です。

バラの花はバラバラになり、テニスボールも

ガラスのように割れます。

風船はどうなるでしょうか。

しゃぼん玉はどうでしょうか。

超伝導(ちょうでんどう)というのは何でしょうか。

さあ、超低温の不思議な世界で、

わくわくしてみませんか。

●とき

2009年

# 3/14 土

午後1時30分～3時30分

●ところ

SCITA  
山形大学サイタセンター  
山形市小白川キャンパス



●対象・定員 小学4年生～中学生 20名 とその保護者 (申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。)

●参加費 無料

●申込先 990-8560 山形市小白川町1-4-12 山形大学サイタセンター「マイナス200度」係

●申し込み方法

はがきに、氏名(ふりがな)、住所、TEL、年齢、学校名、学年、および保護者名(同伴の場合)を記入の上ご応募下さい。申込み結果は、しめ切り後、郵送または電話でお知らせします。

●しめ切り 3月4日(水) 必着

●お問い合わせ 山形大学SCITA(サイタ)センター

TEL. FAX 023-628-4506 メール scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学理学部

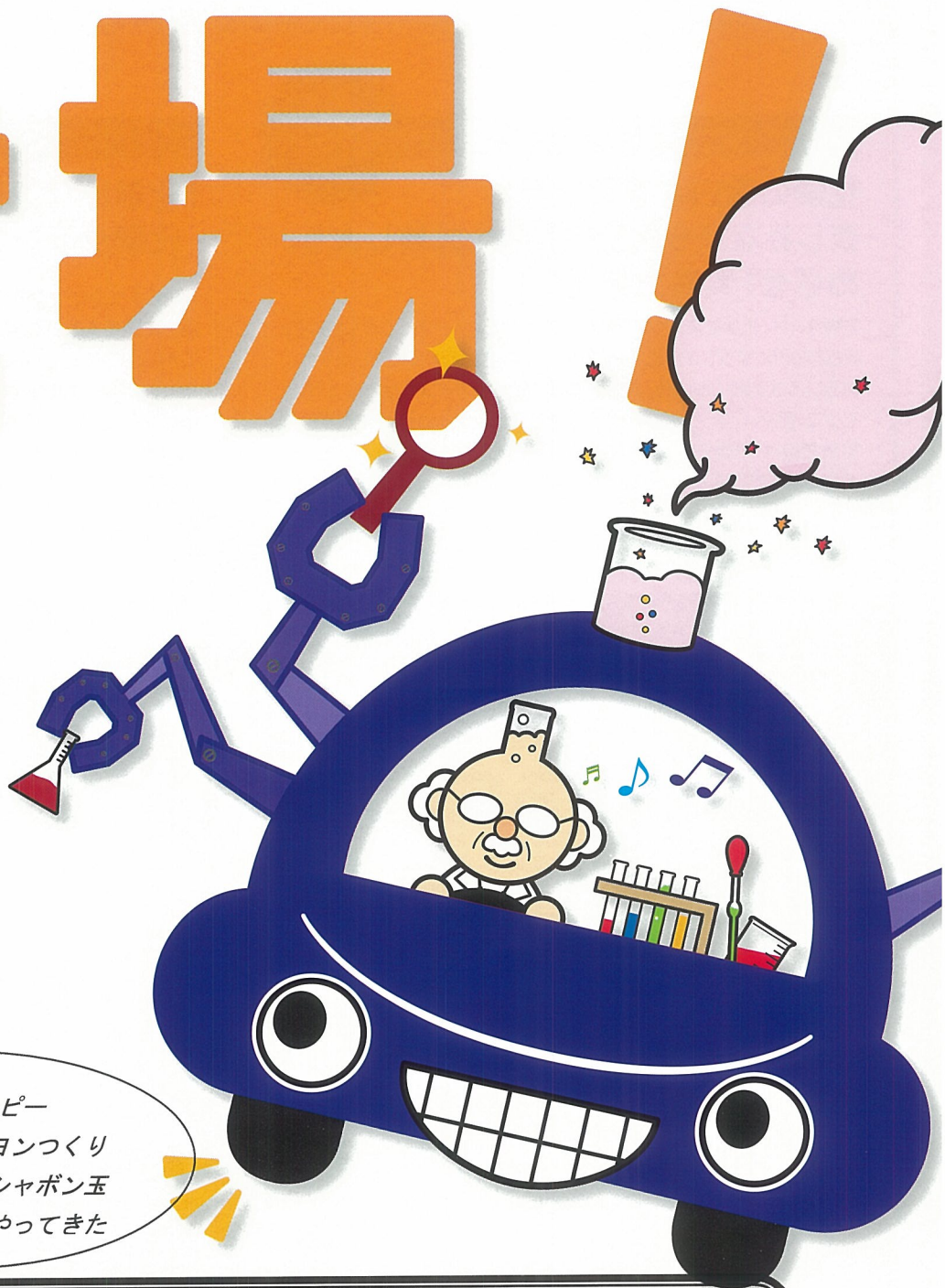


# 化学車

# 登場

42th International Chemistry  
Olympiad in JAPAN  
Pre-Event

実験キットをのせた  
夢のくるまが僕らのまちに  
やってくる！



なんでもコピー  
オリジナルクレヨンづくり  
フワフワ浮かぶシャボン玉  
オワンクラゲがやってきた



日時：2009年3月8日（日）11時～16時  
場所：イオン山形南ショッピングセンター  
主催：化学オリンピック日本委員会 共催：山形大学



# 化学をのせた 夢のくるまが僕らのまちに!

実験キットを積んだくるまが、日本全国各地の学校や博物館、公民館等の施設を巡回し、それぞれの地域で募集された子どもたちを対象に、実験教室を開催!  
2010年に行われる国際化学オリンピックの旗にメッセージを書くイベントなどが盛りだくさん!! 化学の魅力を再発見できるまたとないチャンスです!!



**参加賞として化学オリンピックグッズプレゼント!!**

小・中学生対象

参加料  
200円  
(保険料のみ)

化学の面白さを再発見!  
楽しみながら化学の実験を体験しよう。  
めざせ! 実験力アップ!

実験カーは、化学を楽しく学びながら実験するキットをたくさん積んで、皆さんの町にやってきます。いったいどんな実験ができるのでしょうか? いろいろな実験に取り組んで、キミの実験力をアップさせましょう! そして、将来、化学グランプリや化学オリンピックへの出場を目指そう! 実験指導は、化学の専門家がいきます。別紙応募要領を御覧の上、どんどんお申し込みください。 ※小学生は保護者同伴をお願いします。

※応募者多数の場合は、抽選で参加者を決定します。参加者には、事前に参加券をお送りします。参加券を御持参の方のみが、この実験に参加できます。

高校生対象

参加料  
200円  
(保険料のみ)

「化学オリンピック・  
化学グランプリ」の実験内容を体験!

「化学オリンピックで行なう実験ってどんなことをやるの?」って思っている人も、「化学オリンピックに出るために行なう国内予選ってあるの?そこでは、どんな実験をやるの?」って思っている人も、また「化学オリンピックなんて自分には関係ない!でもちょっと知りたいな~」って思っている人も、ぜひぜひ体験してみてください。化学オリンピックの紹介を兼ねて、本番に出題された実験問題の中からアレンジして参加者に実験してもらいます。

お申し込み先: 化学オリンピック日本委員会事務局 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館 6F

e-mail **42japan@icho2010.org** 返答に2、3日かかる場合がございます。

F A X **03-5577-8241** 受付時間 午前9時~午後5時(土・日・祝日を除く)



Chemistry: the key to our future

## 国際化学オリンピック 日本開催決定!

国際化学オリンピックとは?

毎年、世界のいずれかの国で開催され、世界約70か国から280名の高校生が参加し、5時間の化学実験試験と筆記試験に挑みます。試験のない日は自由時間も多く、エクスカージョンや施設見学など世界各国の仲間と交流します。

開催日程

**2010年**  
**7月19日~28日**



化学実験カー(実験教室)、  
国際化学オリンピックの  
総合案内はコチラ▶▶▶

<http://www.icho2010.org/>